

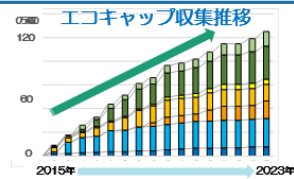
みんなのSDGs賞

企業規模：NPO／業種：福祉／地域：小田原地域

障害者が作るアップサイクル(Upcycle)自主製品『エコマグネット』の創出と販売推進（認定NPO法人 小田原なぎさ会）

取組の概要

運営施設に通所する利用者(障害者)たちが自主活動として継続的に取組んでいる**エコキャップ活動**では、現在までに120万個超の収集(ホリカフン換算2700名分)を達成。収集したキャップの一部を活用した環境に優しい『**エコマグネット**』は、「**使用済みから、新たな価値ある製品**」を生み出すことで、自然保護と共に障害福祉の推進に寄与しています。



使用済みから、新たな価値ある製品へ！

取組を始めた動機・課題

通所する障害者たちが一つでも成功を体験することで「**自信**」につながるのではないかと、の思いから、「**私達も誰かを支援できる!!**」を合言葉に、自主活動として2015年から開始した**エコキャップ活動**。そんな中、コロナ禍に突入して、**施設での受託作業が激減**。障害者たちの**作業と工賃確保が最大の課題**に!!!

解決に向けた具体策と成果

この状況打破に向け創出したのが『**エコマグネット**』。この3年間で6000個以上の製作・販売を達成!!!
コロナ禍での作業を確保すると共に、SDGsに深くつながる製品(**共生社会実現・自然保護・ワクチン支援等**)として多くの共感と応援をいただき、持続可能な活動に成長した。更に認知度を高め、販売拡大を目指す。

該当するSDGs目標
(3つまで)

みんなのSDGs賞

企業規模：中小企業／業種：情報通信／地域：横浜地域

アップサイクル再生紙「クラフトビールペーパー」(株式会社kitafuku)

取組の概要

クラフトビールの醸造過程で発生する**モルト粕**をアップサイクルした再生紙「クラフトビールペーパー」の開発、販売。主に神奈川県ブルワリーからモルト粕を回収し、お客様のニーズに合わせた紙製品の開発と販売を行っている。神奈川県内の飲食店、商業施設での利用や子ども向けのSDGs普及イベントなどで幅広く活用いただいている。



取組を始めた動機・課題

神奈川県は、全国で2番目にクラフトビールのブルワリーが多いと言われている。一度のビール製造に約300kgのモルト粕を排出することもあり、この大量の副産物を課題に感じているブルワリーも多い。ビールを楽しむお客様の手に届く製品に出来ないかと、製紙技術を持つパートナー企業と連携し、開発を行った。

解決に向けた具体策と成果

具体策：クラフトビールの醸造過程で発生するモルト粕を再利用して紙を製造し、アップサイクルする。
成果：これまでに回収したモルト粕は累計で1400kgを突破。主に県内の企業や飲食店で、ギフトボックスやメニュー表などに活用されている。導入社数は約60社。手軽に取り入れられる名刺が特に好評となっている。

該当するSDGs目標
(3つまで)

みんなのSDGs賞

企業規模：中小企業／業種：医療／地域：横須賀三浦地域

心臓リハビリテーションハイキング×清掃活動で健康増進と環境保全に貢献
(公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院)

取組の概要

当院では心臓病の患者さんが病気を克服し、より気軽に楽しく健康が維持できるように、循環器内科医師、看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、医療相談員、事務職が一丸となり心臓リハビリテーションハイキングを開催しています。ハイキングゴール地では管理栄養士による栄養指導教室を開催したり、参加者と清掃活動を行ったりしています。あらゆる年齢のすべての人々が心身ともに健康な生活を送ることができるよう、そして長く住み続けられる街づくりに取り組んでいます。



Exercise is Medicine !



取組を始めた動機・課題

心臓リハビリテーションは心臓病を有する人の生活の質改善と生命予後を伸ばす効果があります。2004年から運動療法におけるモチベーション向上のためにハイキングやゴルフ等のスポーツイベントを多職種で企画し、今年で19年目を迎えました。「Exercise is Medicine.」を合言葉に各職種が専門性を発揮し、豊かな人生を送っていただけるよう力を尽くしています。

解決に向けた具体策と成果

ハイキング後のアンケートでは「自身の健康状況を確認できる機会になった」、「適度なハイキングで運動不足が解消でき、引き続き体力づくりをしたい」等の高い効果を感じられる感想が毎回多くあり、多職種での継続的な健康増進支援を達成しています。

該当するSDGs目標
(3つまで)

神奈川県中小企業診断協会賞

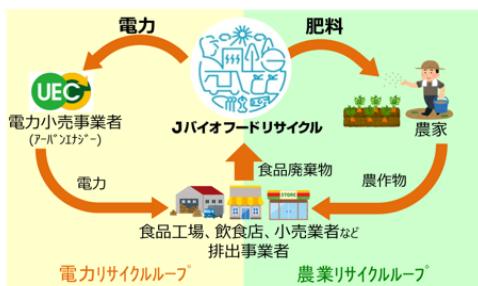
企業規模：中小企業／業種：食品リサイクル業／地域：横浜地域

食品ごみを電気と肥料にリサイクル！
(株式会社Jバイオフードリサイクル)

取組の概要

食品廃棄物から微生物の力（メタン発酵）でバイオガスを生み出し、発電に利用し再エネ電気を創出します。さらに発酵残渣は肥料になり、農地で利用されています。排出事業者は電気と肥料でできた作物を提供する『ダブルリサイクルループ』を通じて、環境負荷低減、循環型社会に貢献できます。

■ダブルリサイクルループ



取組を始めた動機・課題

スーパー、コンビニ、レストラン等から出る食品廃棄物は容器やはしなどの異物が多く、分別の手間がかかるため飼料化・肥料化には不向きとされ焼却処理されてきました。「容器包装プラ等の異物が混在する食品廃棄物」もそのまま受入れ処理できる、食品リサイクル（メタン化）に着手しました。

解決に向けた具体策と成果

- ▶食品リサイクル率UPに貢献 (排出事業者350社)
- ▶食品ごみから再エネ電気を創出 (一般家庭5,700世帯分)
- ▶CO2排出量削減効果 約7,700t/年
- ▶ダブルリサイクルループの構築により地域循環共生圏を創造

該当するSDGs目標
(3つまで)

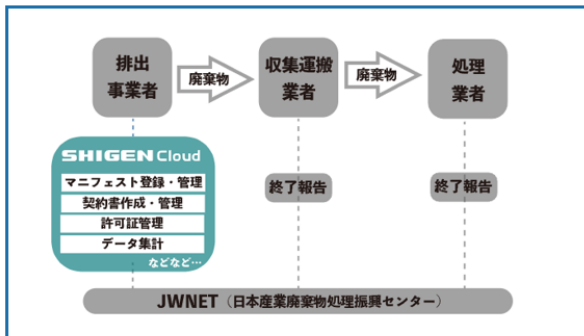
神奈川県中小企業診断協会賞

企業規模：中小企業／業種：産業廃棄物処理業／地域：横浜地域

複雑な産業廃棄物の管理を誰でも簡単に！ (リンクイノベーションズ株式会社)

取組の概要

産業廃棄物を排出する業者（排出事業者）は廃棄物を処理する際、最終処分が完了するまでの一連の工程が適正に行われる事を確認するために「マニフェスト（紙か電子）」を発行・管理する事が法で定められています。その管理が業者任せになってしまっていたり、電子化が進まないのが現状でした。



取組を始めた動機・課題

弊社は、長年廃棄物処理業に携わり、排出事業者の一番近い距離にいました。その立場を活かし、排出事業者自身で簡単に廃棄物管理ができるものはないかと考え、シゲンクラウドを開発いたしました。不法投棄や不適正な処理による環境汚染を未然に防止し、持続可能な社会に貢献できるクラウドシステムです。

解決に向けた具体策と成果

排出事業者自身で産業廃棄物の管理が出来る事により、自社で排出した廃棄物の種類や量などを可視化でき、業務効率が90%向上。排出事業者責任を果たす事が可能になりました。簡単に産業廃棄物の管理ができるようになった事により、電子化へのハードルが下がり普及率が上がっております。

該当するSDGs目標
(3つまで)

